

地域活動展開  
個別支援

		A1	A2	A3	A4	A5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度単位でひとつの業務を実施することができるレベル</li> <li>・個人、家族への基本的な支援に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数年単位で複数の業務の方向性を決定し、実施することができるレベル</li> <li>・集団、組織、地域への基本的な支援に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数業務の展開、改善に責任をもつレベル</li> <li>・住民、関係機関と協働し、より深い支援に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理的役割の補佐ができるレベル</li> <li>・施策化、システム化の提案に責任をもつレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的な管理的役割を担うレベル</li> <li>・施策化の立案、システム化に責任をもつレベル</li> </ul>
保健師の活動領域	元のリーダー (能力を発揮して行うこと・行動レベル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導のもとに複雑でない健康課題をもつ個人・家族への支援計画を立案し、支援を展開できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導のもとに複雑な健康課題をもつ個人・家族への支援計画を立案し、支援を展開できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑な健康課題をもつ個人・家族に対し、根拠に基づく判断で臨機応変に支援を展開できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例支援へのスーパーバイズ（助言・指導）と関係機関との調整ができる。</li> <li>・スタッフの個人・家族への支援の全体像を把握し、管轄地域内に潜在している健康課題を感知することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在している健康課題を現実化し、支援体制を構築できる。</li> <li>・対応困難な事例支援へのスーパーバイズ（助言・指導）と関係機関との調整ができる。</li> </ul>
地域活動展開 個別支援	①健康課題をかかえる個別の事例に対し、当事者自らが健康課題を解決するプロセスへの援助を行う能力。	<p>(複雑でない健康課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象の個性に応じた保健指導や生活支援を実施することができる。</li> <li>2) 個別支援の経過を明らかにするための記録ができる。</li> <li>3) 個別支援の支援終了を判断できる。</li> <li>4) 支援した内容について評価できる。</li> <li>5) 支援内容の評価から今後の支援方策を具体的にできる。</li> </ol>	<p>(複雑な健康課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象の個性に応じた保健指導や生活支援を実施することができる。</li> <li>2) 個別支援の経過を明らかにするための記録ができる。</li> <li>3) 個別支援の支援終了を判断できる。</li> <li>4) 支援した内容について評価できる。</li> <li>5) 支援内容の評価から今後の支援方策を具体的にできる。</li> </ol>	<p>(チームで関わる健康課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 他職種・関係機関とのそれぞれの役割を明確にできる。</li> <li>2) 複雑な健康課題をもつ個人・家族の事例について関係職種と連携して責任をもって対応できる。</li> <li>3) 問題解決のためにケアチームの編成ができ、必要に応じてコーディネーターの役割を担うことができる。</li> <li>4) ケアチームとしての対応について評価できる。</li> <li>5) 個別指導の事例を通じて、職場内での他職種・関係機関との役割分担ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事例支援へのスーパーバイズと関係機関との調整ができる。</li> <li>2) 対応困難な(複雑かつ緊急性の高い)健康課題をもつ個人・家族の支援に対してスーパーバイズができる。</li> <li>3) スタッフがケアチームの中で保健師としての役割が担えるよう助言指導ができる。</li> <li>4) 個別支援において保健師としてビジョンをもった指示をだすことができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対応困難な事例支援へのスーパーバイズと関係機関との調整ができる。</li> <li>2) 潜在化している健康課題を総合的に評価し、支援体制を構築できる。</li> <li>3) 対応困難な健康課題をもつ個人・家族の支援に対してスーパーバイズができる。</li> </ol>
	②健康と生活における包括的なアセスメントを行う能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導のもとに複雑でない健康課題をもつ個人・家族への支援計画を立案できる。</li> <li>2) 初回訪問時、面接時に自己紹介ができ目的を説明し、必要な情報収集ができる。</li> <li>3) コミュニケーションをスムーズに進めることができ、面接面談に対応することができる。</li> <li>4) 個人・家族の生活背景や健康問題を把握できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導のもとに複雑な健康課題をもつ個人・家族への支援計画を立案できる。</li> <li>2) 個人・家族の生活背景や健康問題を把握できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ニーズが地域に普遍的なものか、対象者固有のものかを判断することができる。</li> <li>2) 個別事例の共通する健康課題から、地域のニーズを提示することができる。</li> </ol>		
	③生命に関わる優先度の高い健康課題に迅速に対応する能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導のもとに複雑でない健康課題をもつ個人・家族への支援を展開できる。</li> <li>2) 対象が抱える問題とその本質、解決の優先度、支援の方向性についてアセスメントし、支援計画を立案できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導のもとに複雑な健康課題をもつ個人・家族への支援を展開できる。</li> <li>2) 対象が抱える問題とその本質、解決の優先度、支援の方向性についてアセスメントし、支援計画を立案できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 複雑な健康課題をもつ個人・家族に対し、根拠に基づく判断で臨機応変に支援を展開できる。</li> <li>2) 個人・家族の健康課題に優先順位をつけ目標設定を行い支援計画を立てることができる。</li> </ol>		
	④自立、QOLの向上に向けて適切(予防的支援)な支援方法を選択し支援する能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 個別支援における社会資源・社会保障制度を活用することができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 個別支援における社会資源・社会保障制度を活用することができる。</li> </ol>			
	⑤潜在する健康課題や対象を把握する能力		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 個人・家族への支援の全体像を把握し、管轄地域内に潜在している健康課題を感知することができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 担当地域の個人・家族への支援の全体像を把握し、管轄地域内に潜在している健康課題を抽出できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 潜在している健康課題を現実化できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 潜在している健康課題を現実化し、支援体制を構築できる。</li> <li>2) 部署内において、利用者の視点を含めた潜在化している健康課題を総合的に評価し、支援体制を構築できる。</li> </ol>